

国語科(5年)



☆国語科で学習すること

小学校の国語の学習では、日常生活に必要な話す・聞く・書く・読むなどの基礎的な内容を繰り返し学習し確実に言語能力を育成することを重視しています。

5年生の国語では、年間175時間の授業を実施することになっています。本校では、その内の30時間を書写に当てています。

高学年は、これまでの学習のまとめをし、中学校の学習へ発展させていく小学校生活の最後期です。言語活動の場や目的も日常生活から社会全般にまで多様に広がりを見せ始めます。学習も目的を持ち「話す・聞く」力、「書く」力、「言語」の力が確実に身に付くように学習を進めていきます。

☆学習の仕方について

国語で学習することは、「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」、「言葉の特徴や使い方に関する事項」、「情報の扱い方に関する事項」、「我が国の言語文化に関する事項」です。

「話すこと」では、相手を決めてスピーチをしたり、話題を選んでインタビューをしたりします。聞いている人を意識して取り組むことが大切です。

「書くこと」では、目的をもち、誰に伝えるのかを考えて文章を書くことができるようにします。普段目にしているニュースですが、自分が発信者になって伝える学習もします。話題を見つける目をもち、日頃から題材を探せるとよいでしょう。

「読むこと」では、教科書を繰り返し声に出して読むことと、学級文庫などを利用して、できるだけたくさん本を毎日習慣づけて読むことがよいです。主題や要旨を考えて読むようにしましょう。

「我が国の言語文化に関する事項」では、古典文学にもふれていきます。昔から伝わる表現やそのリズムを楽しみましょう。

☆評価の観点について

国語科では、次の3つの観点で評価します。

①「主体的に学習に取り組む態度」

- 「言葉がもつよさを認識するとともに、進んで読書をし、国語の大切さを自覚して思いや考えを伝え合おうとしている。」
- 授業への参加態度、提出物、発表、ワークシート、読書カード等

②「思考・判断・表現」

- 「筋道を立てて考える力や、豊かに感じたり想像したりする力、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げることができる。」
- スピーチ、発表、聞き取りメモ等
作文、作文メモ、単元テスト(表現)等
音読テスト、ワークシート、単元テスト(理解)等

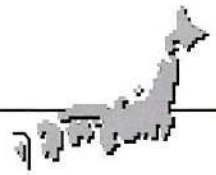
③「知識・理解」

- 「日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができる。」
- 漢字・言葉の小テスト、単元テスト(言語)、硬筆ノート、硬筆作品

☆児童の学習意欲や思考力・判断力・表現力を重視し、ノート、自己評価や相互評価、毎時間の伸び、疑問、願いなどの様々な面から多面的に評価します。

学習予定

月	学習すること
4	○ひみつの言葉を引き出そう ○考えるのっておもしろい ○銀色の裏地 ○名前を使って、自己紹介 ○図書館を使いこなそう ○漢字の成り立ち ○春の空
5	○きいて、きいて、きいてみよう ○敬語 ○原因と結果 ○見立てる 言葉の意味が分かること
6	○日常を十七音で ○古典の世界(一) ○[情報] 目的に応じて引用するとき ○みんなが使いやすいデザイン
7	○同じ読み方の漢字 ○夏の夜 ○作家で広げる私たちの読書 - モモ
夏休み	夏休み読書チャレンジ
9	○かぼちゃのつるが われは草なり ○どちらを選びますか ○新聞を読もう ○文章に説得力をもたせるには ○たずねびと ○漢字の広場②
10	○方言と共通語 ○秋の夕暮れ ○よりよい学校生活のために [コラム] 意見が対立したときには ○漢字の広場③
11	○固有種が教えてくれること [情報] 統計資料の読み方 - 自然環境を守るために ○浦島太郎「御伽草子」より ○カンジー博士の暗号解読 ○和語・漢語・外来語
12	○漢字の広場④ ○古典の世界(二) ○やなせたかし「アンパンマン」の勇氣 ○あなたは、どう考える ○冬の朝
冬休み	冬休み読書チャレンジ
1	○好きな詩のよさを伝えよう ○言葉でスケッチ ○熟語の読み方 ○漢字の広場⑤ ○想像力のスイッチを入れよう ○複合語
2	○言葉を使い分けよう ○もう一つの物語
3	○「子ども未来科」で何をする ○漢字の広場⑥ ○大造じいさんとガン ○5年生をふり返って



◆ 社会で学習すること

5年生の社会科は、1. わたしたちの国土、2. わたしたちの生活と食料生産、3. わたしたちの生活と工業生産、4. 情報化した社会と産業の発展、5. わたしたちの生活と環境、について、年間100時間の授業を通し学習します。主な内容は、我が国の国土の位置や構成、領土の範囲、国土で発生する自然災害、森林資源、農業や水産業における食料生産、工業生産、社会の情報化と産業との関わり、等です。

◆ 学習の仕方について

○ 見学・調査

- 見学・調査に行くときは見学カードや見学ノートを使います。
- 見学・調査に行く前に、各自で調べたいことを整理しておきます。
- 見学・調査のルールやマナーは、事前に学習しておきます。
- 自動車工場・伝統産業を見学し、聞き取り調査をします。

○ 資料活用

- 教科書や資料集と、電話、ファックス、手紙、コンピュータ、現地資料、新聞、インタビュー資料、情報ネットワークなどを使います。

○ 地図・地球儀・資料の活用

- 地図帳を使って、米作りのさかんな地域、水産業のさかんな地域、工業のさかんな地域、特色ある環境の地域などを調べます。
- 地図や地球儀を使って、世界の大陸や海洋、主な国の名称と位置などを調べ国土の環境が人々の生活や産業と密接な関連をもっていることを考えます。

○ 表現活動

- 観察や見学・調査、体験などを通して調べたことをまとめ、発表します。
- 社会科見学新聞や手紙、年表、紙芝居、絵地図、ガイドブック、コンピュータ、写真などで表現し、発表し合います。

月 学習の予定

4	1 わたしたちの国土 ① 世界の中の国土
5	② 国土の地形の特色 ③ 低い土地の暮らし
6	④ 国土の気候の特色 ⑤ あたたかい土地の暮らし 2 わたしたちの生活と食料生産 ① 暮らしを支える食料生産
7	② 米作りのさかんな地域
9	③ 水産業のさかんな地域 ④ これからの食料生産とわたしたち
10	3 わたしたちの生活と工業生産 ① 暮らしを支える工業生産
11	② 自動車をつくる工業 ③ 工業生産を支える運輸と貿易 ④ これからの工業生産とわたしたち
12	4 情報化した社会と産業の発展 ① 情報産業とわたしたちの暮らし
1	② 情報を生かす産業 ③ 情報を生かすわたしたち
2	5 わたしたちの生活と環境 ① 自然災害を防ぐ ② わたしたちの生活と森林
3	③ 環境を守るわたしたち

◆ 評価の観点

3つの観点で評価します。

- ① 我が国の国土の地理的環境の特色や産業の現状、社会の情報化と産業の関わりについて、国民生活との関連をふまえて理解しているとともに、地図帳や地球儀、統計等の各種の基礎的資料を通して、情報を適切に調べまとめる技能を身に付けている。(知識・技能)
- ② 社会的事象の特色や相互の関連、意味を多角的に考える力、社会に見られる課題を把握して、その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断し、考えたことや選択・判断したことを説明したり、それらをもとに議論したりしている。(思考・判断・表現)
- ③ 社会的事象について、主体的に学習の問題を解決しようとし、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとしているとともに、多角的な思考や理解を通して、我が国の国土に対する愛情、我が国の産業の発展を願い我が国の将来を担う国民としての自覚を持っている。(主体的に学習に取り組む態度)

◇ 保護者の方へ ◇

学校での学習だけでなく、日ごろから日常的に日本の産業や国土の特色への関心を高めることが大切です。家族で散歩や旅行などに出かけるときには、周りの産業の様子や自然環境の特色などにふれる機会を計画に加えてください。

また地域にある田畑の耕作の様子、伝統産業である人形作りなどを児童が自主的に調べに行き、地域の方に聞き取り調査をしたりするときには、ご協力をお願いします。普段なかなか行くことのできない様々な国内の地域への関心をもてるように、新聞やテレビによる自然や環境などについて、家族の団らの時間に話し合ってみてください。

算数科 5年

☆学習すること

5年生は年間175時間の授業を通して次の内容を学習します。

- ・奇数、偶数、約数、倍数
- ・小数のかけ算、わり算
- ・分数のたし算、ひき算（分母が違う場合）
- ・分数×整数、分数÷整数
- ・三角形、平行四辺形、ひし形、台形の面積の求め方と公式
- ・体積の単位（ m^3 ）
- ・立方体、直方体の体積の求め方
- ・平均、単位量あたりの大きさ、割合、百分率
- ・多角形や正多角形
- ・角柱や円柱
- ・図形の合同
- ・簡単な比例の関係
- ・数量の関係を表す式

☆評価の観点

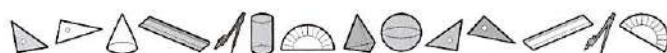
算数科では、次の3つの観点で評価します。

- ① 数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などを理解しているとともに、日常の事象を数理的に処理する技能を身に付けている。（知識・技能）
- ② 「日常の事象を数理的に捉え、見通しをもち筋道を立てて考察する力」「基礎的・基本的な数量や図形の性質などを見いだし統合的・発展的に考察する力」「数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表したり目的に応じて柔軟に表したりする力」を身に付けている。（思考・判断・表現）
- ③ 数学的活動の楽しさや数学のよさに気付き粘り強く考えたり、学習を振り返ってよりよく問題解決しようとしたり、算数で学んだことを生活や学習に活用しようとしたりしている。（主体的に学習に取り組む態度）

★ 単元テストだけでなく、日常の学習の様子、発言、課題への取り組み状況、ノート整理の仕方、自己評価や相互評価、毎時間の伸びなど様々な面から評価します。

☆保護者の方へ

- ①「東京書籍」の教科書を使用して学習を進めます。その他に、計算ドリルを購入して使用します。家庭学習でも活用してください。
- ②算数で学習することを生活に関連づけるよう意識していただくと、より学習効果が上がります。
- ③ノートは10mm方眼を使用します。



学期	単元名	おもな学習の内容
一学期	1 整数と小数	◎整数及び小数の十倍・百倍・千倍の位の変化 ◎十進位取り記数法
	2 直方体や立方体の体積	◎直方体や立方体の体積 ◎体積の単位
	3 比例	◎比例の意味
	4 小数のかけ算	◎整数×小数の計算 ◎小数×小数の筆算
	5 小数のわり算	◎整数÷小数の計算 ◎小数÷小数の筆算
	* 少数の倍 どんな計算になるのかな	◎整数倍と小数倍の意味 ◎基準量 ◎文章問題
二学期	6 合同な図形	◎合同な図形 ◎三角形の構成要素 ◎合同な図形の作図
	7 図形の角	◎多角形の内角の和
	8 偶数と奇数、倍数と約数	◎偶数と奇数 ◎公倍数、公約数
	9 分数と小数、整数の関係	◎分数の意味 ◎分数の小数・整数での表し方
	* 考える力を伸ばそう	◎差と和
	* 算数で読みとこう	◎問題解決
	10 分数のたし算、ひき算	◎異分母の加減計算 ◎通分
	11 平均	◎平均の意味
	12 単位量あたりの大きさ	◎単位量あたりの大きさ ◎速さ、道のり、時間
	13 四角形と三角形の面積	◎平行四辺形の面積 ◎台形の面積
三学期	14 割合	◎百分率と歩合
	15 帯グラフと円グラフ	◎帯グラフ、円グラフ ◎割合と絶対量
	16 変わり方調べ	◎伴って変わる2つの数量
	17 正多角形と円周の長さ	◎正多角形のかき方 ◎円のまわりの長さ
	18 角柱と円柱	◎角柱、円柱、展開図、見取図
	* 考える力をのばそう	◎問題解決
	* 算数で読みとこう	◎問題解決、情報処理
	* 5年のふくしゅう	◎1年間の復習

理科 5 年



理科の目標

自然に親しみ、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象についての問題を科学的に解決するために必要な資質・能力を育成する。特に5年生では、育成を目指す問題解決の力の中で『予想や仮説を基に、解決の方法を発想する力』を養うことを目標としています。

5年生で学ぶ主な内容

【物質・エネルギー】

振り子の運動、電流がつくる磁力、物の溶け方

【生命・地球】

植物の発芽成長結実、動物の誕生、流れる水の働きと土地の変化、天気の変化



評価の観点

■知識・技能

自然の事物・現象に働きかけ、問題解決をしていくことを通して科学的な理解を深めたり、観察・実験などに関する技能を身に付け、得られた結果を適切に記録したりすることができる。

■思考・判断・表現

児童が自然の事物・現象に親しむ中で興味・関心をもち、そこから問題を見だし、予想や仮説を基に観察・実験などを行い、結果を整理し、その結果を基に結論を導き出すといった問題解決を行うことができる。

■主体的に学習に取り組む態度

意欲的に自然の事物・現象に関わろうとしたり、粘り強く問題解決しようとしたり、他者と関わりながら問題解決したり、学んだことを自然の事物・現象や日常生活に当てはめてみようとしたりしようとしている。

単元テストだけでなく、日常の学習の様子、発言、課題への取り組み状況、ノート整理の仕方、自己評価や相互評価、毎時間の伸びなど様々な面から評価します。

	月	学 習 の 予 定
1 学 期	4	○ 解決する方法を考えよう 1 天気の変化
	5	2 植物の発芽や成長
	6	3 メダカのたんじょう
	7	4 ふりこ ○ わたしの研究
	8	夏休みの自由研究
2 学 期	9	5 花から実へ ○ 台風接近
	10	6 流れる水と土地 ○ 川と災害
	11	7 電流が生み出す力
3 学 期	12	
	1	8 もののとけ方
	2	9 人のたんじょう ○ 受けつがれる生命
	3	

音楽科 5 年

♪ 音楽で学習すること ♪

5年生の音楽では、表したい音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、音楽づくりの技能や、音楽を味わって聴く力を身に付け、生活を明るく潤いのあるものにしようとする態度を育てます。

学習では、今までの経験をもとに、自分の思いやイメージをふくらませ、工夫して音楽を表現していきます。歌うことや楽器を演奏することへ意欲、主体的に取り組む気持ちを大切にしながら学習を進めていきます。

♪ 5年生の内容 ♪

・音楽の内容は大きく「表現」と「鑑賞」の二つに分かれています。

表現

- 歌や演奏するときに、どのように表現したいか思いや意図をもったり、全体のまとまりを意識した音楽づくりの発想を得たりする。
- 曲想、歌詞、音色、響きなどと音楽との関わりについて理解したり、音の組合せの特徴を理解したりする。
- 楽譜を見て歌ったり、演奏したり、音楽の仕組みを用いて音楽をつくったりする。

鑑賞

- 曲や演奏のよさなどを感じて味わって聴いたり、曲想とその変化、音楽との関わりについて理解したりする。

♪ 学習活動を通して ♪

- ・5年生では、年間50時間、音楽の授業があります。
- ・授業以外でも、朝の会で歌ったり、音楽朝会で歌ったりして、音楽に親しみます。
- ・音楽朝会では、学年ごとに進行を担当し、今月の歌を中心に歌唱する曲のめあてを持ちながら他学年との合唱を聴きあい、音楽の楽しさや美しさを味わいます。
- ・始業式や終業式、卒業式などの行事でも校歌などを歌い、音楽の学習を生かして、音楽を愛好する心を養います。

♪学習の予定♪

月	題 材 名	教材（◎鑑賞教材 ☆共通教材）
4	歌声をひびかせて心をつなげよう	・校歌(Alt)・国歌・離任式の歌 ・Believe ・すてきな一歩 ☆こいのぼり
5	音の重なりを感じ取ろう	・小さな約束 ・いつでもあの海は ◎アイネクライネナハトムジーク第1楽章
6	いろいろな音色のひびきを味わおう	・リボンのおどり（ラバンパ） ◎祝典序曲 ◎アフリカン シンフォニー ・リズムアンサンブル
7	和音の移り変わりを感知取ろう	・静かにねむれ ・こげよマイケル
	曲想の変化を感じ取ろう	・夢の世界を ・キリマンジャロ
9	詩と音楽の関わりを味わおう	◎待ちぼうけ ◎赤とんぼ ◎この道 ☆冬げしき ☆スキ一の歌
10	日本の音楽に親しもう	◎春の海 ☆子もり歌 ◎ソーラン節
11		◎かりぼし切り歌
12		・小さな淡黄色の馬 ・日本の民謡めぐり
1	思いを表現に生かそう	・威風堂々 ・それぞれの朝
	歌いっごう日本の歌	・ちいさい秋みつけた ・海
2	みんなで楽しく♪	・マイバラード・地球へ
3		・君は虹を見たかい？ ・小さな鳥の小さな夢 ・失われた歌 ・大空がむかえる朝 ・ほたるの光 ・クラッピングファンタジー

♪ 評価の観点 ♪

- 知識・技能・・・・・・・・曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、表したい音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、音楽づくりの技能が身に付いている。
- 思考・判断・表現・・・・・・・・音楽表現を考えて、表現に対する思いや意図をもつことや、曲や演奏のよさなどを見いだしながら、音楽を味わって聴くことができる。
- 主体的に学習に取り組む態度・・主体的に音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを味わいながら、様々な音楽に親しむとともに、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとしている。

図画工作科（５年）

【図画工作科で学習すること】

- ◎ 図画工作科は、子どもたちが自分らしさを発揮し、自分の表現方法でかいたり、つくったり、遊んだりすることの快さや楽しさを味わう教科です。
- ◎ 図画工作科は、二つの領域とその両方に関わる〔共通事項〕からなっています。
 - ・A 表現（１）『造形遊び』（２）『絵や立体・立体に表す』
 - ・B 鑑賞
 - ・〔共通事項〕年間 50 時間の授業を、2 か年を見通し、学年間で関連を図りながら指導します。
- ◎《ねらい》
 - 1 創造的に表現や鑑賞をする子どもを育て、つくりだす喜びを味わえるようにします。
 - 2 想像力を働かせて発想や構想をし、様々な表し方を工夫して造形活動ができるようにします。
 - 3 親しみのある作品などから、よさや美しさを感じ取れる感性を高めます。

【評価の観点】

- ◎ できあがった作品だけで評価するのではなく、子どもたちの活動の様子を視点をあて、その過程を大切にします。
- 次の３つの観点で評価します。
 - 1 対象や事象を捉える造形的な視点について自分の感覚や行為を通して理解するとともに、材料や用具を活用し、表し方などを工夫して、創造的につくったり表したりすることができるようにする。（知識及び技能）
 - 2 造形的なよさや美しさ、表したいこと、表し方などについて考え、創造的に発想や構想をしたり、親しみのある作品などから自分の見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。（思考力、判断力、表現力等）
 - 3 主体的に表現したり鑑賞したりする活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養う。（学びに向かう力、人間性等）

《学習の予定》

	題 材 名（領 域）
一 学 期	「季節を感じて」（絵） 「みんなでたのしく「はい、ポーズ」」（立） 「形を集めて」（絵） 「糸のこの寄り道散歩」（工） 「進め！ローラー大ぼうけん！」（絵）
二 学 期	「動きの不思議」（絵） 「わたしのおすすめ」（絵） 「見つけて！ワイヤードリーム」（工） 「あったらいい町、どんな町」（絵） 「地球は大きなキャンパスだ」（造）
三 学 期	「比べてみよう」（鑑） 「同じもの、たくさん」（造） 「色を重ねて広がる形」（版） 「そっと見てね、ひみつの景色」（工）

《子どもたちががんばってほしいこと》

- ◎ 日頃から、図画工作科の授業で使えるものを集めておきましょう。
集めたものは、『図工箱』に入れておくと役立ちます。
材料や道具を忘れないようにしましょう。
材料は、むだにしないで大切に使いましょう。
道具は安全に気を付け、丁寧に使いましょう。
- ◎ 作品は、途中であきらめないうで、最後までがんばり完成させましょう。
- ◎ 後かたづけは、みんなと協力して進んでしましょう。



家庭科 5年



家庭科で学習すること

自分や家族の生活を見つめ、支えられている自分からできるようになる自分へと成長していくための学習です。

衣食住に関する実践的な学習を通し、家族の一員として協力して家庭生活をよりよくしようとする意識や能力を培います。また、日常生活に必要な基礎的・基本的な知識や技術を習得し、作ることや働くことの喜びを味わいながら、実際の生活で活用できるようにします。

将来、よりよい家庭生活や生き方ができるようにするための重要な能力や実践する力を学習していくのが「家庭科」です。

評価の観点

①知識・技能

日常生活に必要な家族や家庭、衣食住、消費や環境などについて理解しているとともに、それらに関する技能を身に付けている。

②思考・判断・表現

日常生活の中から問題を見いだして課題を設定し、様々な解決方法を考え、実践し、考えたことを表現するなどして、課題を解決する。

力を身に付けている。

③主体的に学習に取り組む態度

家族の一員として、生活をよりよくしようと、課題の解決に自分から取り組んだり振り返って改善したりして、生活を工夫し実践しようとしている。

保護者の方へ

家庭科は、日常の家庭生活で経験的に学ぶこと（生活学習）と教科内容を学ぶこと（教科学習）との関連を図ることにより、一層、家族や家庭生活への理解を深めることができる教科です。子供たちが身に付けた知識と技能などを、日常生活に活用できるように、家庭学習の課題に出ることがありますが、ご支援ご協力をお願い致します。

学 習 の 予 定

	題材名	主な学習活動
1 学 期	1 毎日の生活を見つめてみよう	毎日の生活を見つめ、生活を支える家族の仕事について学習します。
	2 クッキング はじめの一歩	調理のよさを見つけ、その手順を知り、ゆでる調理をします。
	3 ソーイング はじめの一歩	針と糸で縫うことのよさに気づき、手ぬいでボタンをつけたり生活に活用できるものを作ったりします。
	4 整理整頓で快適に	自分の持ち物や部屋を整理整頓すること、環境に配慮した物の生かし方を学習します。
	5 できるよ 家庭の仕事	学んだことをふり返し、自分の仕事を見つけて家庭で実行します。
チャレンジコーナー		
2 学 期	6 食べて元気に	食事の必要性や栄養素の働き、ご飯とみそ汁の調理の仕方を学び、毎日の食事に生かします。
	7 ミシンで楽しくソーイング	ミシンの安全な使い方を学習し、ミシンぬいを生かして作品を作り生活に生かします。
チャレンジコーナー		
3 学 期	8 生活を支える お金と物	計画的な買い物の仕方、目的に合ったものの選び方や使い方などを学びます。
	9 着方の工夫で快適に	衣服の働きを知り、健康で安全な着方や工夫した着方を学びます。
	10 暖かい住まい方で快適に	安全に効率よく寒さに対応する生活の仕方を工夫します。
	11 いっしょに「ほっとタイム」	ふれ合いや団らんのよさに気づき、周りの人との関わりの楽しみ方を考えます。
チャレンジコーナー		



体育科 5年

体育科で学習すること

- 各種の運動の課題をもち、活動を工夫して計画的に行うことによって、その運動の楽しさや喜びを味わうことができるようにするとともに、その特性に応じた技能を身に付け、体の調子を整え、体力を高める。
- 協力、公正などの態度を育てるとともに、健康・安全に留意し、自分の最善を尽くして運動をする態度を育てる。
- 心の健康やけがの防止について理解できるようにし、健康で安全な生活を営む資質や能力を育てる。



田間宮体育の願い

自分に適しためあてをつかみ、仲間と磨き合う喜びを味わわせる体育学習

- ・その運動の楽しさや喜びを味わわせる。
- ・公正な態度で、最善を尽くして活動させる。
- ・健康で安全な生活について理解させる。

- めあて達成に向けて、学習資料を活用し、修正することができるようにします。
- 友達に修正のためのアドバイスをしたり補助したりできるようにします。
- 指定された場を必要に応じて変え、活動することができるようにします。

身に付けさせたい力

「からだづくり」

- ・筋力の発達が目立つようになり、力強い動きができる。
- ・確かな動きのよさに気づき、課題解決はかれる。

「こころづくり」

- ・グループの中の個々を互いに認め合える。
- ・自分のめあてに向かって練習を工夫して粘り強くやりぬくことができる。

「なかまづくり」

- ・正しい評価の仕方を理解できる。

学習の予定

月	領 域 名	<内 容>
4	集団行動	< 集団行動 >
5	ボール運動	<ソフトバレーボール>
	表現運動	< 表現運動 >
6	表現運動	<フォークダンス>
	保健	<心の健康>
7	水泳運動	< 水泳運動 >
9	走・跳の運動	<走り幅跳び>
10	体づくり	<体の動きを高める運動>
	体づくり	<体ほぐし>
11	器械運動	<マット運動>
	保健	<ケガの防止>
	体づくり運動	<体力を高める運動> (持久走)
12	器械運動	鉄棒運動
	走・跳の運動	<短距離・リレー>
1	器械運動	<跳び箱運動>
2	ボール運動	<サッカー>
3	ボール運動	<バスケットボール>

評価の観点



- 知識・技能 … 各種の運動の楽しさと喜びを味わい、その行い方及び心の健康やケガの防止について理解するとともに、各種の運動の特性に応じた基本的な技能を身に付けている。
- 思考力・判断力・表現力 … 自己やグループの運動の課題や身近な健康に関わる課題を見付け、その解決のための方法や活動を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。
- 学びに向かう力、人間性 … 各種の運動に積極的に取り組み、約束を守り助け合って運動したり、仲間の考えや取組を認めたり、自己の最善を尽くして運動している。

特別活動 5 年

★特別活動の目標★

集団や社会の形成者としての見方・考え方を働かせ、様々な集団活動に自主的、実践的に取り組み、互いのよさや可能性を発揮しながら集団や自己の生活上の課題を解決することを通して、次のとおり資質・能力を育成することを目指します。

★特別活動の活動内容★

学級活動	学校行事	児童会活動	クラブ活動
(1) 学級や学校における生活づくりへの参画 (2) 日常生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全 (3) 一人一人のキャリア形成と自己実現	儀式的行事 文化的行事 健康安全・体育的行事 遠足・集団宿泊的行事 勤労生産・奉仕的行事	1年生を迎える会 陸上選手を はげます会 卒業を祝う会 等	バスケ・ドッジ サッカー・フット 卓球 バド・バレー バトン・ダンス パソコン 昔遊び 手芸 図工 科学

◇学級活動の学習の予定◇

月	(1) 学級や学校の生活づくりに関する内容 27時間	(2) 日常生活や学習への適応及び健康安全に関する内容 5時間	(3) 一人一人のキャリア形成と自己実現に関する内容 3時間
	《予想される議題例》	《題 材》	《題 材》
1 学期	・学活の計画を立てよう ・前期代表委員を決めよう ・学級の目標を決めよう ・係を決めよう ・学級の歌を決めよう ・給食当番をきめよう ・バスケット選手を励ます会のやり方を考えよう ・運動会の取り組みを話し合おう ・応援団を決めよう ・雨の日の過ごし方を考えよう ・係のコーナーを作ろう ・思い出に残る林間学校にしよう ・スポーツ大会をしよう ・まとめの会をしよう	・一年生を迎える会 ・安全な自転車の乗り方 ○むし歯の進行 ・雨の日の過ごし方 ・男女の協力 ・整理整頓 ○楽しい夏休み	○上級生の役割 ・委員会の仕事 ・清掃の工夫
2 学期	・係を決めよう ・夏休み発表会をしよう ・グループのめあてを決めよう ・社会科見学に取り組もう ・新聞コンクールをしよう ・友だちとの遊びを考えよう ・スポーツ大会をしよう ・後期代表委員を決めよう ・読書発表会をしよう ・2学期のまとめをしよう	・2学期をむかえて ・夏休みの反省 ・目の健康 ・物を大切にする日 ○友だちと仲良く ・友情・協力・思いやり ・かぜの予防 ○有意義な冬休み ・言葉遣い ・交通安全	・委員会活動 ○家庭学習をしよう
3 学期	・係を決めよう ・「卒業を祝う会」の出し物を決めよう ・6年生とバスケット大会をしよう ・給食のマナーを考えよう ・委員会を決めよう ・6年生にお祝いメッセージを送ろう	○3学期をむかえて ・給食と給食週間 ・暖房と換気 ・持ち物を大切に ・教室をきれいに ・もうすぐ春休み	○6年生への心構え

道 徳 科 5 年

学習予定

道徳科で学習すること

	月	教材名	項目
1 学期	4	人生という教科	A 善悪の判断
		ぬぎすてられたくつ	A 節度、節制
	5	もったいない	D 自然愛護
		すれちがい	B 相互理解
		世界に羽ばたく「航平ノート」	A 希望と勇氣
		ぼくがいるよ	C 家族愛
	6	おじいさんのあたたかな目	B 感謝
*わたしって何		D 生命の尊さ	
いじめをなくすために		C 公正公平	
心をこめて 一秒の言葉		B 礼儀	
7	ミッキーマウスの誕生	A 希望と勇氣	
	復興への願いフェニックス	C 伝統と文化	
2 学期	9	*こいのぼりに思いをこめて	B 親切、思いやり
		うばわれた自由	A 善悪の判断
		植物と共に 牧野富太郎	A 真理の探究
		ひみつのグループトーク	B 友情、信頼
	10	手品師	A 正直、誠実
		この思いをフェルトペンにたくして	C 勤労、公共
		母とながめた一番星	D 生命の尊さ
		太平洋のかけ橋 新渡戸稲造	C 国際理解
	11	UDって何だろう	B 親切、思いやり
		女性が医師になれる社会へ 荻野吟子	C 公正、公平
		森の絵	C よりよい学校生活
		フジの新しいおびれ	D 自然愛護
12	アップするの？	A 善悪の判断	
	心の中のりゅう	D よりよく生きる喜び	
	銀のしょく台	B 相互理解	
3 学期	1	日本の「まん画の神様」	A 個性の伸長
		*離れていても	B 友情、信頼
		お客様	C 規則の尊重
	2	二十分間の出来事	D 生命の尊さ
		すごい！江戸の社会	C 伝統と文化
		わたしはひろがる	D よりよく生きる喜び
	3	世界に目を向けてユニセフ親善大使 黒柳徹子	C 国際理解
		アルソミトラの空	D 感動

* 彩の国の道徳（埼玉県独自の道徳教育教材資料集）

1 学期：「学級づくりの羅針盤」より

2 学期：「心の絆」より

3 学期：「未来に生きる」より

A 主として自分自身に関すること

- (1) 自由を大切に、自律的に判断し、責任のある行動をすること。
- (2) 誠実に、明るい心で生活すること。
- (3) 安全に気を付けることや、生活習慣の大切さについて理解し、自分の生活を見直し、節度を守り節制を心掛けること。
- (4) 自分の特徴を知って、短所を改め長所を伸ばすこと。
- (5) より高い目標を立て、希望と勇気を持ち、困難があってもくじけずに努力して物事をやり抜くこと。
- (6) 真理を大切に、物事を探求しようとする心をもつこと。

B 主として人との関わりに関すること

- (7) 誰に対しても思いやりの心を持ち、相手の立場に立って親切にすること。
- (8) 日々の生活が家族や過去からの多くの人々の支え合いや助け合いで成り立っていることに感謝し、それに応えること。
- (9) 時と場をわきまえて、礼儀正しく真心をもって接すること。
- (10) 友達と互いに信頼し、学び合って友情を深め、異性についても理解しながら、人間関係を築いていくこと。
- (11) 自分の考えや意見を相手に伝えるとともに、謙虚な心を持ち、広い心で自分と異なる意見や立場を尊重すること。

C 主として集団や社会とのかかわりに関すること

- (12) 法やきまりの意義を理解した上で進んでそれらを守り、自他の権利を大切に、義務を果たすこと。を守り、自他の権利を大切にしながら進んで義務を果たすこと。
- (13) 誰に対しても差別をすることや偏見をもつことなく、公正、公平な態度で接し、正義の実現に努めること。
- (14) 働くことや社会に奉仕することの充実感を味わうとともに、その意義を理解し、公共のために役に立つことをすること。
- (15) 父母、祖父母を敬愛し、家族の幸せを求めて、進んで役に立つことをすること。
- (16) 先生や学校の人々を敬愛し、みんなで協力し合ってよりよい学級や学校をつくるとともに、様々な集団の中での自分の役割を自覚して集団生活の充実に努めること。
- (17) 我が国や郷土の伝統と文化を大切に、先人の努力を知り、国や郷土を愛する心をもつこと。
- (18) 他国の人々や文化について理解し、日本人としての自覚をもって国際親善に努めること。

D 主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること

- (19) 生命が多く生命のつながりの中にあるかけがえのないものであることを理解し、生命を尊重すること。
- (20) 自然の偉大さを知り、自然環境を大切にすること。
- (21) 美しいものや気高いものに感動する心や人間の力を超えたものに対する畏敬の念をもつこと。
- (22) よりよく生きようとする人間の強さや気高さを理解し、人間として生きる喜びを感じる。

評価の視点

○道徳教育における評価は、教師が児童の人間的な成長を見守り、よりよく生きようとする努力を評価し勇気付ける働きをもつものです。観察や面接、質問用紙、作文等を利用して道徳性の共感的理解に努め、その結果を指導に生かすようにしています。

○道徳科に関しては、数値などによる評価は行いません。

ふれあう時間（総合的な学習の時間） 5年

ふれあう時間（総合的な学習の時間）とは

地域や学校、児童の実態に応じ、学校が創意工夫を生かして特色ある教育活動を行うことができる時間です。国際理解や情報、環境、福祉健康などの今日的課題や各教科等の学習内容をまたがったり発展させたりするような課題、児童の興味・関心に基づいた課題などについて学習を進めます。5年生では、70時間学習します。

ふれあう時間の目標

- 児童が学習や生活の中から、自分で課題を見つけ出すことができるようにします。
- 自ら考え判断し、問題を解決していく経験を通して、学び方を身につけるようにします。
- いろいろな「ふれあい」を通して、人としての生き方や在り方を学びます。



育てたい力・態度

- 課題の解決に必要な知識及び技能を身に付けるとともに、探求課題に対する自分なりの結論を見出す力。
- 体験や他者から得た情報を基にして自ら課題を設定し、調べて得た情報を自分なりの根拠をもってまとめ・表現する力。
- 探求的な学習に主体的・協働的に取り組み、学んだことを自分の生活に生かそうとする態度。

児童の学習活動

次の段階を踏まえ学習を進めます。

- 【課題の設定】体験活動などを通して、課題を設定し課題意識をもつ。
- 【情報の収集】必要な情報を取り出したり収集したりする。
- 【整理・分析】収集した情報を、整理したり分析したりして思考する。
- 【まとめ・表現】気付きや発見、自分の考えなどをまとめ、判断し、表現する。

評価の観点

- ・テーマにそって自分がやりたいことを計画し、続けられたか。
 - ・学習してきたことが、効果的にまとめられたか。
 - ・レポート、絵、作品、資料等を整理して発表できたか。
 - ・グループで協力して積極的に取り組めたか。
- ※テストや優劣をつけるような評価は行いません。

	月	テーマ・ねらい	技能 (文書作成・表計算・プレゼンテーション・プログラミング)
1 学期	4	林間学校へレッツゴー	
	5	志賀高原の自然を調べたり自分たちの地域を調べたことを比べたりします。また、国語の学習と関連させて発展し、地域における環境問題について考えられるようにします。	
	6		
	7		
2 学期	9	パソコンの使い方に慣れる学習	
	10	学習アプリ(L-gate)や会議用アプリ(Teams)の使い方の確認やローマ字入力の練習の他、Word、Power Pointの操作を確認し、Excelを使った計算や票の作り方、Scratchを使ったプログラミング学習を行います。	
	11	日本や世界の伝統的な食べ物と食文化	
	12	日本の伝統的な食べ物について(食育・地域との関連から)課題を見つけ、自分たちの生活をいろいろな視点から考え、生活に生かせるようにします。さらに、世界の食文化についても調べ、自分の生活との関わりに気付かせる。	
3 学期	1		
	2		
	3		

保護者の方へ

児童が取り組んでいることについて、ご家庭でも話題にしていいただければ、児童の関心も高まります。

また、経験等を生かしゲストティーチャーとして児童に話をしていただける方や、校外での学習時に児童の安全のため、支援ボランティアをしていただける方を探しています。ご協力をお願い致します。

外国語 5年

*** 外国語の目標 ***

英語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通してコミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を育成する。

- 英語を通じて
- ① 言語や文化について体験的に理解を深める。
 - ② 他者に配慮しながら、主体的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。
 - ③ 英語の音声や基本的な表現に親しませる。

外国語で学習すること

- *英語を用いてコミュニケーションを図る楽しさを体験します。
- *積極的に英語を聞いたり、話したりします。
- *言語を用いてコミュニケーションを図ることの大切さを知ります。
- *英語の音声やリズムなどに慣れ親しむとともに、日本語との違いを知り、言葉の面白さや豊かさ気付きます。
- *日本と外国との生活、習慣、行事などの違いを知り、多様なものの見方や考え方があることに気付きます。
- *異なる文化をもつ人々との交流等を体験し、文化等に対する理解を深めます。

*** 評価の観点 ***

- ① 言語や文化の理解を深めているか。
- ② 積極的にコミュニケーションを図ろうとしているか。
- ③ 英語の音声や表現に慣れ親しんでいるか。
- ④ アルファベットの太文字を識別し、視写できるか。

*** 保護者の方へ ***

- ・外国語の学習においては、原則として英語を取扱います。5年生では英語を「書く」活動が始まります。
- ・多くの表現を覚えたり細かい文法事項を理解したりするのではなく、簡単な表現を読んだりすることでコミュニケーションを図り、英語に慣れ親しむことに重点を置いていきます。
- ・今年度は担任とALTでの授業です。
- ・CDやDVDなどの視聴覚教材や絵カード等を活用しています。



学習の予定 (年間 70 時間)

	タイトル	主な使用表現 内容 等
1 学期	1 Hello, everyone. 友だちのことをもっと知ろう。	Hello, I'm (Saki). Nice to meet you. I (like / don't like) (blue). I like (soccer) very much.
	2 When is your special day? クラスのスペシャル・カレンダーを作ろう。	When is your birthday? My birthday is March eighteenth. What (sport) do you like?
	3 What do you have on Mondays? 将来の夢をかなえるための時間割を作ろう。	Do you have (P.E.) on (Monday)? Yes, I do. / No, I don't. What do you have on (Monday)? I have (math).
	4 I can draw pictures well. もっと自分を知ってもらおう。	Where is the treasure? Go straight (for three blocks). Turn (right / left) (at the third corner). You can see it on your (right / left). It's (on / in / under / by) (the desk).
2 学期	5 Where is the station? マイタウンを作って案内しよう。	Where is (the station)? Go straight for one block [two blocks]. Turn right [left]. You can see it on your right [left]. It's on [in / under / by] (the park). We have (a park) in our town. What is your favorite place? My favorite place is [It's] (the library).
	6 What would you like? ランチメニューを考えて注文しよう。	May I help you? What would you like? I'd like (a hamburger). How much is it? It's (500) yen. It's (delicious). What's this? It's (pho). It's (rice noodles).
	7 I love my town. 「町のすてきなところ」をしようかいしよう。	I love my town. My favorite place is (the amusement park). We have [don't have] (a park). We can (enjoy watching soccer games). It's (beautiful).
3 学期	8 My Hero クラスみんなの「ヒーロー図かん」を作ろう。	Who is your hero? My hero is (Ohtani Shohei). He [She] is (a baseball player). He [She] is good at (playing baseball). He [She] is (nice). This is ~. It's famous for ~.